

〈気象防災アドバイザーとは〉

- 所定の研修を修了した気象予報士や気象庁退職者等に**国土交通大臣が委嘱**する気象防災のスペシャリストで、限られた時間内で**予報の解説から避難の判断まで**を一貫して扱える人材。
- **防災基本計画**に基づき、地方公共団体が防災教育や人材育成、避難情報の発令等に活用。
- **地方公共団体の職員として**採用された場合、**避難情報発令について首長への進言**等を実施。
- 気象庁では、気象防災アドバイザー人材の拡充のため、気象庁退職者等への委嘱を推進するとともに、気象予報士を対象とした気象防災アドバイザー育成研修を実施。

〈活動内容の例〉

平時の対応



地域住民を対象とした
防災に関する講演会の講師

- 地方公共団体内の研修や訓練の企画・運営を通じた人材育成
- 地域住民を対象とした普及・啓発
- 避難情報発令基準やタイムライン等の防災計画の策定・改善
- 日々の気象解説

など

大雨等の防災対応時の対応



市役所での災害対策本部訓練
における解説

- 避難情報発令についての首長への進言
(防災情報や河川水位を読み解き、各地区の地形特性を踏まえ、首長に地域防災計画に基づく避難情報発令について進言)
- 気象状況や河川水位に対する危機感、避難場所の開設・閉鎖の見通しについての職員への解説

など

気象防災アドバイザー プロフィール

元佐賀地方気象台長

溝上 良雄 様

生年月日：1959年（昭和34年）5月18日

出身地：佐賀県佐賀市



気象庁退職後、大好きな佐賀県で地域に貢献できる仕事をしたいと思い佐賀市立公民館の館長を3年間務める。その間地域の人と一緒に活動する中で、災害や防災について意識はあるものの、気象庁が発表する防災気象情報が十分に活用されていないことに気づく。防災気象情報を発表する側から受け手になり、なるべく分かりやすい言葉を用いて県内各地で講演や防災教育、テレビやラジオなどで解説を行っている。趣味はランニング、ウォーキング。昨年の4月から「ゆめさが大学」に入学（3年過程）。たくさんの仲間が出来てサークル活動などを楽しんでいる。家族は妻と猫3匹。

ウェザーマップ（福岡放送「バリはやッ!ZIP!」気象予報士）

福山 佳那 様

生年月日：1996年（平成8年）7月8日

出身地：鳥取県



東日本大震災で友人が被災したことをきっかけに、災害から命を守ることに貢献したいと考えるように。大学卒業後、地元の民放に入社し報道記者として働きながら気象予報士の資格を取得。取材を重ね防災特集などを多数制作するとともに、防災番組も制作。同時に、夕方ニュースの気象キャスターも務め天気コーナーの企画から出演まで担当した。2022年からウェザーマップに所属。災害現場から漁師や農家に至るまで、これまでの幅広い取材経験を生かし、1人1人の生活と気象・防災情報を繋ぐ架け橋となる気象予報士を目指す。